

2023年2月16日

東京藝術大学は愛媛県と包括連携協定を締結 アートを活用した街づくりや地域活性化に取り組みます。

国立大学法人東京藝術大学（学長：日比野克彦、以下「藝大」）と愛媛県（知事：中村時広、以下「県」）は、相互の連携・協力により、活力ある地域づくりや人材育成・交流を図り、個性豊かな地域社会の形成と発展に資することを目的として、1月27日（金）に包括連携協定を締結いたしました。

当日は、日比野学長、中村知事のほか、本協定の橋渡し役で本学経営協議会委員でもあり株式会社今治・夢スポーツ代表取締役会長の岡田武史氏の立会いのもと、協定書に署名いたしました。



【日比野学長からのコメント】

藝大は、創立以来140年近くの歴史の中で育んできた伝統と、現代の多様な社会の中で求められる芸術の役割を探り、次の150年に向けて新たな藝大の姿を、教職員や学生たちと築き上げようとしている。その中で一番のポイントとして、アートによる様々な社会的課題の解決がある。社会的課題は、人間が豊かになろうとするこ



TOKYO GEIDAI

とにより、人の行動によって起こったものである。人を豊かにする、人の心を動かす「芸術の力」は、人が起こした社会的課題を解決するために活用できるのではないか。またそのときには「地域との連携」が重要となる。それぞれの地域の文化を大切に、その地域に住んでいるひとりひとりの個性を、アートという接続詞で表現していくことにより、社会的課題を解決できるのではないかと考えている。また、スポーツはアートと同じく、国や言語を超えて人をつなぐ要素があるので、ぜひFC今治のスポーツの力もお借りしながら連携をしていきたい。

【中村知事からのコメント】

FC今治の本拠地「里山スタジアム」が藝大との連携を検討する中で、今治・夢スポーツの岡田会長の橋渡しにより、藝大とのご縁をいただいた。県の豊かな自然と文化をどう生かし、磨いていくかが大きな課題であり、芸術を専門として最前線で活躍する方々の力を借りることが必要不可欠だ。これから県において、文化・芸術面での飛躍が生まれるのではないかとワクワクする心境だ。今回連携協定を締結できることについて改めて感謝している。



<問合せ先>

東京藝術大学 社会連携課

電話 050-5525-2030

E-mail pcd-renkei@ml.geidai.ac.jp